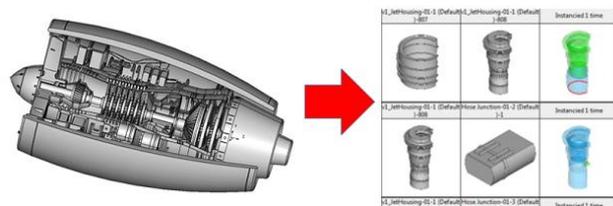
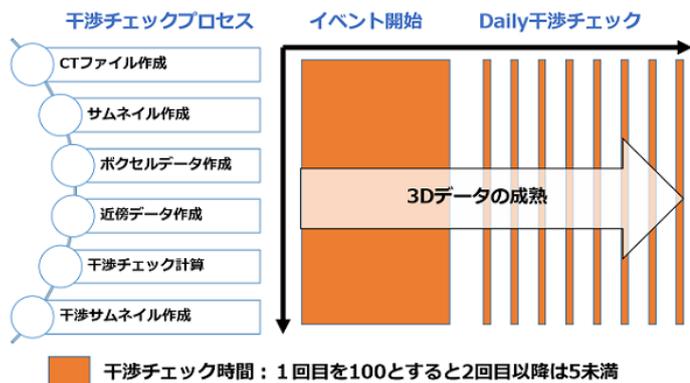
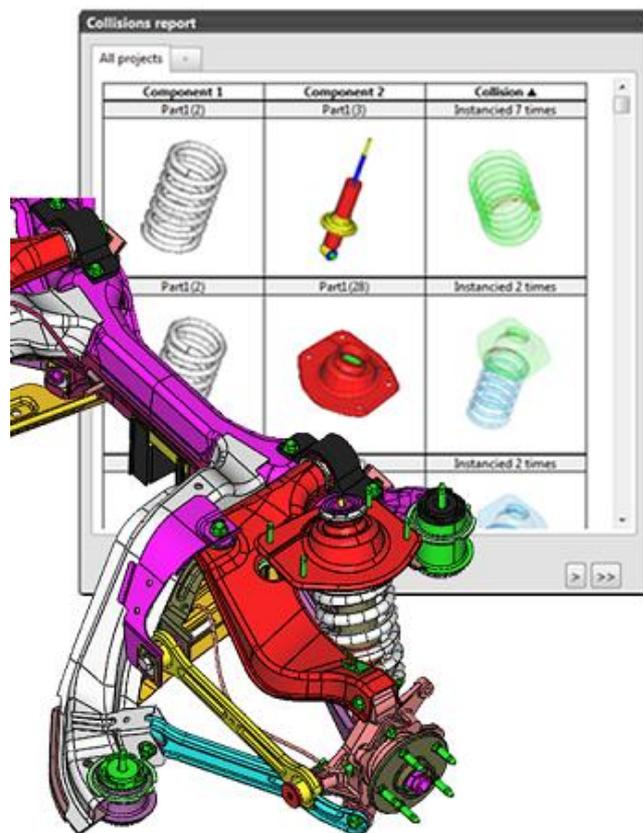


3D 検証ツール：大規模アセンブリデータの干渉チェック

2014年12月3日

デジタルモックアップにおけるコンポーネントの干渉チェックは、設計レビュープロセスに不可欠な機能です。CT Core Technologie Group は、3D Evolution の干渉チェックと Enterprise Data Manager (EDM) により大規模データに対する干渉チェック機能を提供します。EDM はマルチプロセッサコンピューティングと最適化された近傍検索エンジンをの非常に大きなアセンブリのために計算される強力なツールです。統合されたSQLデータベースでの結果とデータ処理の正確な3Dデータ表現により、結果の迅速かつ効率的な分析と差分干渉チェックが可能となります。この差分干渉チェックにより2回目以降の干渉チェックの計算時間が大幅に短縮されます。欧州では、このEDMのリリースにより3Dデータの信頼性が向上し、3D図面(3DAモデル)の運用が可能となりコストダウンが図られています。3D図面(3DAモデル)の運用には、干渉チェックが完了していることが前提条件となります。



部品点数	1220点
干渉チェック時間(初回)	46分23秒
干渉チェック時間(2回目)	37秒
干渉検出箇所	123箇所
CPU	Intel (R) Core (TM) i7-3612QM
Memory	16GB



株式会社デジタルシアター

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 14F

Tel 03-6853-6659 <http://www.dtcgroup.co.jp>